



次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 (特色ある文化芸術活動推進)
 社会包摂型若手オペラ等人材育成事業「歌によるソーシャル・インクルージョン・イン・福島」

東京二期会 × 藤原歌劇団 夢の共演コンサート

二期会合唱団

藤原歌劇団合唱部

歌声の最高峰、集う。



テノール
樋口達哉(東京二期会)



バリトン
成田博之(東京二期会)



ソプラノ
野田ヒロ子(藤原歌劇団)



メゾソプラノ
森山涼子(藤原歌劇団)

南相馬の合唱団も特別共演!

MJCアンサンブル

原町女声合唱団



指揮:佐藤正浩 ピアノ:平塚洋子

《プログラム》

ヴェルディ/歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」
 ビゼー/歌劇「カルメン」より「ハバナラ」
 プッチーニ/歌劇「トゥーランドット」より
 “誰も寝てはならぬ”
 ヘンデル/「メサイア」より「ハレルヤ」
 八木澤教司/「明日という日が」(MJCアンサンブル)
 高田三郎/「心の四季」より「風が」(原町女声合唱団)
 菅野よう子/「花は咲く」 ほか

日時: 2015年 3月 10日(火) 18時30分開演(18時開場)

会場: さくらホール(南相馬市鹿島生涯学習センター)

チケット 全席自由 500円 お問い合わせ TEL.0242(37)0771(リフコム会津)

チケット窓口 【南相馬市】おおうち書店 TEL.0244-22-4403 文芸堂書店桜井町店 TEL.0244-24-4711
 北洋舎クリーニング本店 TEL.0244-23-3578 【相馬市】広文堂書店 TEL.0244-35-3138

主催:文化庁 公益財団法人東京二期会 共催:公益財団法人日本オペラ振興会(藤原歌劇団)

後援:南相馬市 福島県 福島民報社 福島民友新聞社 協力:文化芸術による復興推進コンソーシアム 株式会社テンポプリモ 株式会社リフコム会津

歌の力が紡ぐ絆一。

合唱王国として全国に知られる福島県。ここ南相馬も、MJCアンサンブル・原町女声合唱団といった団体を筆頭に、合唱が大変盛んな地域です。ただその中にあり、震災によって離散してしまったメンバーも少なくありません。多くの歌声が遠ざかり、小さくなりました。しかし、その絆は消えてはいません。「歌の力」が、皆を繋いでいます。

今回のコンサートでは、日本を代表するオペラ団体、東京二期会と藤原歌劇団が共演します。普段なかなか触れることのない一流のオペラや音楽で、南相馬の方々に「歌の力」を再認識してもらいたい、という思いから集結しました。

また、地元南相馬よりMJCアンサンブル・原町女声合唱団も共演。先立って出演アーティストたちによる歌唱指導・合同練習も行われます。一流アーティストと地元合唱団、そして聴衆の方々が出会い、共に歌い、共に感動できる。そしてその輪がずっと広がっていく。「歌の力」はそんな絆を、きっと紡いでいきます。

東京二期会、藤原歌劇団。 日本最高の合唱団が南相馬で、待望の共演！

〈指揮：佐藤正浩 ピアノ：平塚洋子〉

二期会合唱団 Nikiikai Chorus Group

「二期会合唱団」は、1953年の第二回オペラ公演「マルタ」の際に結成された、我が国最初にして最古のプロフェッショナルオペラ合唱団である。その活動の中心である二期会オペラ公演では、毎回ダイナミックな歌唱と演技で喝采を浴びている。さらに主要オーケストラへの客演や独自の演奏会、青少年のための音楽鑑賞教室など、多岐にわたる活動を展開している。オペラでは、昨年4月「蝶々夫人」、9月「イドメネオ」、11月「チャルダッシュの女王」、今年2月「リゴレット」と、数々のオペラ公演を高い精度で支えている。主要オーケストラへの客演も多く、常に賞賛と信頼を集めている。青少年のための音楽鑑賞教室など、子供達に夢を与える活動にも積極的に活動している。今後、数多くのオペラやコンサートでの活躍が期待されている。

藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

藤原歌劇団合唱部は、日本初の本格的なオペラ公演団体「藤原歌劇団」(1934年創立)に所属し、同歌劇団の長い歴史と共に数多いオペラの舞台上で活躍を続けている。合唱部独自の活動も多く、2005年11月にはE.U.ジャパンフェストで、アイルランドのコーク市に招かれ初の海外公演で成功を収めた。またウィーン国立歌劇場来日公演「フィデリオ」、ホセ・カレーラス「モーツァルト・レクイエム」等に出演。近年には、13年サントリーホール主催ニコラ・ルイゾッティ指揮「ヴェルディ・レクイエム」、14年びわ湖ホール主催沼尻竜典指揮「リゴレット」で登場し、各方面より高い評価を得る。当団公演では昨年6月「蝶々夫人」、11月「ラ・ボエーム」に出演し、その統率された歌唱力と緻密な演技力で藤原歌劇団公演の要として活躍している。



ソリスト

soloist



樋口 達哉 (テノール)
Tatsuya Higuchi Tenor

輝くイタリヤの声と華ある舞台姿で
聴衆の心をとらえる魅惑のテナー

福島県出身。武蔵野音楽大学大学院修了後ミラノに留学。E・カールソー国際声楽コンクール最高位等受賞。ハンガリー国立歌劇場「ラ・ボエーム」ロドルフォで欧州デビュー。ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場管等と共演。東京二期会「仮面舞踏会」、新国立劇場「トスカ」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」などに主演。近年も「ホフマン物語」タイトルロール、「蝶々夫人」ピンカートン等の華ある演出で聴衆を魅了。2012年3月11日、東日本大震災復興の願いを込めたCD「君のために～Per Te」をリリースし、売上の一部を復興に義援している。14年スカラ座との共演による「バッシオーネ～イタリヤ歌曲集」をリリース。オペラ歌手によるクラシカル・クロスオーバー「The JADE ザ・ジェイド」メンバー。二期会会員。



野田 ヒロ子 (ソプラノ)
Hiroko Noda Soprano

豊かな音楽性とコントロールされた
歌唱で定評あるプリマドンナ

東京音楽大学卒業、同大学研究科修了。1996年渡伊。98年に産経新聞主催「東京国際声楽コンペティション」優勝。同年、ハンガリーのブダペスト国際声楽コンクール入賞によりハンガリー国立劇場での「ラ・ボエーム」のミミでオペラ・デビューを飾る。国内では2002年第38回日伊声楽コンクールで優勝。藤原歌劇団公演には03年「ラ・トラヴィアータ」のタイトルロールでデビューし、「ラ・ボエーム」のミミでは絶賛を博している他、「ロメオとジュリエット」「イル・カンビエロ」「ランスへの旅」等に出演。最近では13年2月藤原歌劇団公演オペラ「仮面舞踏会」のアメリカで高い評価を得た。その他、各種コンサートやオーケストラ公演に出演する等幅広く活躍している。藤原歌劇団団員。



成田 博之 (バリトン)
Hiroyuki Narita Baritone

繊細な性格描写と多彩な表現力で
注目のバリトン

宮城県出身。国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。第8回日本声楽コンクール第1位。2003年ミトローロス国際声楽コンクール(アテネ)最高位。文化庁芸術家在外派遣研修にて渡伊。東京二期会「ラ・ボエーム」マルチェッロ、「カプリッチョ」伯爵、佐渡裕プロデュース・オペラ「カルメン」エスカミーリオ、新国立劇場「西部の娘」ベッコ、「蝶々夫人」シャープレス等で好評を博し、14年東京二期会「ドン・カルロ」ロドリゴ、新国立劇場「カヴァレリア・ルスティカーナ」アルフィオ、15年2月、東京二期会「リゴレット」タイトル・ロールを務め、6月新国立劇場「沈黙」ヴァリニャーノに出演予定。オペラ歌手によるクラシカル・クロスオーバー「The JADE ザ・ジェイド」メンバー。二期会会員。



森山 京子 (メゾ・ソプラノ)
Kyoko Moriyama Mezzo-Soprano

華やかな存在感と、確立されたテクニック
を持つ魅惑のメゾ・ソプラノ

国立音楽大学卒業。1985年「ニッカ・カルメンシータ」オーディションで第1位となり主役カルメンを歌った。藤原歌劇団には88年「椿姫」のフローラでデビュー。その後02年3月「カプレーティ家とモンテッキ家」のロメオで絶賛を博す。03年からは「イタリヤのトルコ人」「アルジェのイタリヤ女」「ラ・チェネントラ」とロッシェニオペラでの主役が続き「ランスへの旅」「どろぼうかさざさ」「カルメル会修道女の対話」等も含め好評を博している。華やかな存在感と、確立されたテクニックを持ち合わせた日本を代表するオペラ歌手として活躍している。新国立劇場にも「軍人たち」「リゴレット」「オテロ」など他多数出演。藤原歌劇団団員。

地元南相馬より、実力派2団体が特別共演！

MJCアンサンブル

2009年6月、南相馬と周辺の中高校生を対象に結成。

11年2月に初めて全国大会予選を突破した直後の東日本大震災・福島第一原発の影響でメンバーがバタバタになる中自主練習を続け、8月に東京で開催された「2011こどもコーラスフェスティバル」に出場。その後、鎌倉音楽祭出演、鈴鹿サーキットでF1グランプリの開幕セレモニーで国歌斉唱を担当した。12年にはニューヨーク公演、バチカンでローマ法王に献呈演奏、ウィーン少年合唱団と共演。13年全国大会3年連続出場。以降も国内外で様々な活動を通して、被災地からの感謝と元気を届ける活動を続けている。

15年1月現在、所属団員26名。12年プレデンシャル・ボランティアスピリット賞受賞。13年防衛大臣特別表彰、地域再生大賞特別賞およびふくしま県民大賞芸術文化賞受賞。

原町女声合唱団

1976年に婦人学級の中の1クラブとして誕生した合唱サークルが、2007年に「原町女声合唱団」と名称を改め心機一転。美しいハーモニーと豊かな音楽性を追求しつ今日まで様々な活動を展開してきた。10年12月には創立記念35周年記念演奏会を開催するも、その3ヶ月後の11年3月11日に突如として巨大地震と津波、そして原発事故に襲われる。多くの人が一瞬にして何もかもを失い、団員も避難を強いられた。やがて歌の力に励まされながらまた徐々に集結した団員で、同年5月から仮設住宅や学校体育館・公的施設で慰問活動を開始した。「私たちが合唱することでハーモニーを奏で、苦しみや悲しみを共有することができた。今回の共演は神様からの贈り物と、感謝したい」と話す同団は今年10月に、創立40周年記念演奏会を実施する。